

# 2016

オリックス生命の現状



# ほかにはないアンサーを。

オリックスグループの一員として、  
当社は生命保険事業を通してお客さまに  
「ほかにはないアンサー」をご提供してまいります。



一人ひとりに  
安心を届ける  
商品開発

お客さまの声を  
大切に考える  
企業姿勢

いつでも  
迅速・適切な  
まごころ対応



利用しやすい  
きめ細やかな  
各種サポート



お客さまに  
寄り添った  
サービス提供

● **オリックス生命について**

- 2 ごあいさつ
- 3 オリックスグループの企業理念
- 4 オリックスグループのご紹介
- 6 ダイジェスト
- 11 社会貢献活動

● **お客さまにご満足いただくために**

- 12 オリックス生命CS宣言
- 12 お客さまの声にお応えする態勢
- 16 保険金・給付金の支払態勢について
- 19 お客さまへの情報提供
- 21 販売形態
- 24 教育・研修の概略
- 25 新規開発商品の状況
- 27 保険商品一覧

● **2015年度決算のご報告**

- 30 2015年度の事業概況
- 32 契約の状況(個人保険)
- 33 収益の状況
- 34 資産・負債の状況
- 35 健全性について

● **コーポレートガバナンスの強化について**

- 37 法令等遵守の態勢
- 39 リスク管理の態勢
- 41 情報システムに関する状況
- 42 反社会的勢力に対する基本方針
- 42 利益相反管理態勢について
- 43 勧誘方針
- 44 金融ADR制度への対応
- 44 個人情報保護について
- 45 個人情報の取扱いについて

● **会社概要**

- 47 会社沿革
- 48 主要な業務の内容
- 48 経営の組織
- 49 取締役および監査役
- 49 執行役員
- 49 会計監査人の氏名又は名称
- 49 従業員の在籍・採用状況
- 49 平均給与(内勤職員)
- 49 平均給与(営業職員)
- 50 店舗網一覧
- 50 資本金の推移
- 50 株式の状況
- 50 主要株主の状況

● **諸データ**

**会社概要**

名 称	オリックス生命保険株式会社
本 社 所 在 地	東京都港区赤坂2-3-5 赤坂スターゲートプラザ
設 立	1991年4月12日
代表取締役社長	片岡 一則
資 本 金	590億円
株 主	オリックス株式会社(100%)

お客さまにとって必要なもの  
 お客さまにとって便利なもの  
 お客さまにころからご納得いただき  
 ご満足いただくために。

## ごあいさつ

皆さまには、日頃よりオリックス生命をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

このたび、当社では、2015年度の決算の概況、および当社の主な活動をご報告申し上げるため、ディスクロージャー誌「オリックス生命の現状2016」を作成いたしました。ご高覧の上、より一層のご理解をいただければ幸いに存じます。

当社は、1991年にオリックスグループの生命保険会社として営業を開始し、本年4月12日で創立25周年を迎えました。3期連続で新規契約件数50万件を突破し、直近では保有契約件数が300万件を超えるなど、安定的な成長を続けています。皆さまの多大なるご支援に対し、厚く御礼申し上げます。

この25年を振り返りますと、保険業界を取り巻く環境は大きく変化しました。1996年の規制緩和で生命保険業と損害保険業の相互参入が可能となり、また、2007年には銀行窓口での生命保険の販売が全面解禁になるなど、追い風を受けて保険業界は躍進しました。一方、2016年に入ってから日本銀行によるマイナス金利導入の影響等により、一部商品の販売停止や保険料の値上げなどの動きがみられます。また、販売チャネルの再編や保険業法改正に伴う態勢整備が進められるなど、再び業界を取り巻く環境が大きく変化する兆しが見え始めています。

このような状況のなか、当社が持続的な成長をしていくためには、これまで以上にお客さまに寄り添い、お客さまのニーズに的確に応えることができる柔軟な対応力を育んでいくことが大切になると考えております。今後、より一層の「安心」をお客さまにお届けするために「コンサルティング力」を高めていくとともに、変化を見据えた業務プロセスの改善、改革を行い、持続的成長に向けた基盤づくりを進めてまいります。

今後も経営の健全性の確保に努め、多くのお客さまから信頼されご満足いただける生命保険会社を目指してまいりますので、引き続きご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。



代表取締役社長  
片岡 一則

# オリックスグループの企業理念

## 企業理念

オリックスは、  
たえず市場の要請を先取りし、先進的・国際的な金融サービス事業を通じて、  
新しい価値と環境の創造を目指し、社会に貢献してまいります。

## 経営方針

- 1 オリックスは、お客さまの多様な要請に対し、  
たえず質の高いサービスを提供し、強い信頼関係の確立を目指します。
- 2 オリックスは、連結経営により、すべての経営資源を結集し、  
経営基盤の強化と持続的な成長を目指します。
- 3 オリックスは、人材の育成と役職員の自己研鑽による資質の向上を通じ、  
働く喜びと誇りを共感できる風土の醸成を目指します。
- 4 オリックスは、この経営方針の実践を通じて、  
中長期的な株主価値の増大を目指します。

## 行動指針

### Creativity

先見性と柔軟性を持って、  
たえず創造力あふれる行動をとろう。

### Integration

お互いの英知と情報を結合させ、人間的な  
ふれあいを通じて、グループ力を高めよう。

これまでの精神を土台として目指す企業像を明確化

## EC21 *Excellent Company*

オリックスでは、「21世紀における Excellent Company」を目指すために、  
企業行動憲章ともいふべき「EC21」を定めています。

「EC21」では、「企業理念」を踏まえて、「オリックスが目指す企業像」を明確化し、  
これを実践するための「企業行動規範」\*、「役職員行動規範」\*および「役職員倫理規定」\*を定めています。

\*P37ご参照

## オリックスが目指す企業像

### 誇り

市場に高く評価される  
新しい価値の創造によって  
経済的なインパクトを生み出し、  
「誇り」ある活動を行う企業

### 信頼

株主・お客さま・従業員などを含め  
社会の多様な期待に応える  
高い能力と謙虚な姿勢を持ち、  
関係する人々から「信頼」される企業

### 尊敬

社会的な規範を守り、公正かつ  
透明な活動を行う優れた社風を  
持ち、社会との調和を保って、  
広く世の中から「尊敬」される企業

# オリックスグループのご紹介

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスをお客さまに提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、専門性を獲得することにより事業を進化させてきました。現在は法人金融、メンテナンスリース、不動産、事業投資、リテール、海外事業の6つのセグメントから構成されています。

リース事業は「金融」と「モノ(物件)」の2つの専門性を必要とします。リースで培われた「金融」の専門性は、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用事業へと広がりました。「モノ」の専門性は、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連事業へと広がっています。

また、1971年の香港進出を皮切りに世界37カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。

オリックスは、事業ポートフォリオの分散による事業展開を軸としながら、中期的な経営目標として“非金融事業の拡大”による利益成長を掲げています。

「既存事業の成長」「重点分野への新規投資」という方針のもと、環境の変化に応じた新たな事業へ挑戦し、2018年3月期の当期純利益3,000億円の実現を目指してまいります。

## オリックス概要

(2016年3月31日現在)

会社名	オリックス株式会社 (英文名 ORIX Corporation)	発行済株式総数	1,324,058,828株
設立	1964年4月	上場証券取引所	東京 市場第一部(証券コード:8591) ニューヨーク(証券コード:IX)
本社所在地	東京都港区浜松町2丁目4番1号 世界貿易センタービル	事業内容	多角的金融サービス業
代表者	取締役 兼 代表執行役社長・グループCEO 井上 亮	グループ会社	連結会社793社 関連会社132社
決算期	3月	拠点数	国内1,418拠点、海外672拠点
株主資本	2,310,431百万円		世界37カ国・地域
従業員数	33,333名	U R L	<a href="http://www.orix.co.jp/grp/">http://www.orix.co.jp/grp/</a>

オリックスグループは、さまざまな金融商品やサービスをご提供しています。

## 1 金融商品・サービス

### 1 預金

オリックス銀行は、特定分野の商品・サービスに絞ることで実現した、高水準な金利の円定期預金をご提供しています。

個人のお客さまには、インターネット取引専用の「eダイレクト預金」や「eダイレクト2週間定期預金」、通販型定期預金「ダイレクト預金」を、法人のお客さまには「法人eダイレクト預金」などをご用意しています。

### 2 金銭信託

オリックス銀行は、厳選した企業への貸付金で運用する「eダイレクト金銭信託」をご用意しています。

個人のお客さまには、昨年11月より国内初、通販型の遺言代用信託「かんたん相続信託」の発売を開始しました。

### 3 住宅ローン

オリックス銀行は、賃貸を目的とした投資用不動産のご購入、お借り換えなどにご利用いただける住宅ローンをご提供しています。マンション一室からアパート一棟、新築から中古まで、さまざまな不動産投資ニーズにお応えします。

### 4 カードローン

#### 【オリックス銀行カードローン】

オリックス銀行は、幅広い金利帯・限度枠を設定した「オリックス銀行カードローン」をご提供しています。お借入れやご返済は振込みに加えて、全国各地の提携金融機関ATMを無料にご利用いただけます。



#### 【オリックスVIPローンカード】

オリックス・クレジットは、リーズナブルな金利とゆとりのある利用枠が特徴の「オリックスVIPローンカード」をはじめ、インターネット取引に特化した「カードレスVIP」や事業者向けの「ORIX CLUB CARD」など、多彩でユニークな商品をご提供しています。

借入れや返済については、都市銀行全行をはじめ、ゆうちょ銀行や地方銀行、信用金庫など業界トップクラスの全国CD・ATMネットワークが利用可能です。ローン事業に加えて、各金融機関(都市銀行、地方銀行など)における個人向けローンに対する信用保証事業も積極的に展開しています。



## 2 その他、生活を豊かにするサービス

### 1 太陽光発電システム+小型蓄電システムリース&レンタルサービス

ONEエネルギーは、ご家庭の電気代を削減し、万一の停電時にも電力が使える太陽光発電システムと小型蓄電システムを組み合わせたリース&レンタルサービスをご提供しています。購入よりリースナブルで初期費用も抑えられ、24時間365日見守るため安心です。ONEエネルギーウェブサイト内 (<http://oneenergy.co.jp>) の「電気料金比較シミュレーション」で蓄電池の導入効果をご確認いただけます。



NEC製蓄電池

### 2 オリックス・バッファローズ

オリックス・バッファローズは、プロ野球を「エンターテインメント」として捉え、野球が持つ「感動」と「興奮」、そして「夢」をお届けしています。社会貢献活動の一環として、地元・地域の発展、スポーツ文化の振興などにも積極的に取り組んでいます。



© ORIX Buffaloes

### 3 マンション・戸建

オリックス不動産は、住まいづくりの専門家として常に新しい居住空間の提案・設計にチャレンジしています。規格化されたコンセプトやデザインではなく1件1件手作り感覚で練り上げる商品企画を大切に、地域や立地に応じたオンリーワンの住まいをご提供します。

総戸数874戸  
【大阪びきの街  
ザ・サンクスタワーズ】

### 4 ホテル・旅館

オリックス不動産は、多様なニーズに対応した施設運営を行っています。

- **シティホテル** 「クロスホテル」(北海道/大阪府)・「ハイアットリージェンシー京都」(京都府)
- **サービスアパートメント** 「ハンドレッドステイ東京新宿」(東京都)
- **ビジネスホテル** 「ホテルJALシティ羽田 東京」(東京都)
- **リゾートホテル** 「ホテルリゾートリックス車山」(長野県)・「三田ホテル」(兵庫県)・「ホテル ユニバーサル ポート」(大阪府)・「ヒルトン沖縄北谷リゾート」(沖縄県)
- **温泉旅館** 「別府 杉乃井ホテル」(大分県)・「御宿 東鳳」(福島県)・「大月ホテル和風館」(静岡県)・「ホテル ミクラス」(静岡県)・「蓼科グランドホテル滝の湯」(長野県)・「宇奈月 杉乃井ホテル」(富山県)・「ホテル万惣」(北海道)



ヒルトン沖縄北谷リゾート

### 5 水族館

オリックス不動産は、神奈川県とのPFI事業として「新江ノ島水族館」を運営しています。

そのノウハウを生かし、現在は東京スカイツリータウン®内に「すみだ水族館」を、京都市の梅小路公園内で「京都水族館」を運営しています。幅広い層のお客さまに楽しんでいただけるよう、展示はもちろん、さまざまなワークショップなどをご提供しています。



京都水族館

### 6 ゴルフ場

オリックス・ゴルフ・マネジメントは、全国にゴルフ場40カ所、練習場2カ所を運営しています(2016年6月1日現在)。「先進」「安定」「満足」という企業理念のもと、「1日を、大切に作るゴルフ場へ。」をサービスブランドに掲げ、さらなるサービス向上に努め、ゴルファーの皆さまから、より一層愛されるゴルフ場を目指してまいります。

きみさらずゴルフリンクス  
(千葉県)六甲カントリー倶楽部(兵庫県)  
(第80回関西オープンゴルフ  
選手権競技開催コース)

### 7 高齢者住宅

オリックス・リビングは、生活・介護・医療サービスを連携させた有料老人ホーム「グッドタイム リビング」と、アクティブシニアを対象とした高齢者の住まい「プラテシア」を首都圏と関西圏に28カ所運営しています(2016年6月1日現在)。「新しい介護の常識」を創造し、「安心と賑わいのある暮らし」をご提供してまいります。

安心と賑わいの  
【オリックス・リビング】の介護

### 8 カーリース/レンタカー/カーシェアリング

オリックス自動車は、お客さまのライフステージの変化や、利用目的・利用時間に応じた最適なカーライフを実現する各種サービスをご提供しています。

- **カーリース** マイカー感覚で、購入時と同じように好きなクルマを選べてオプション選択も自由、月々定額で新車に乗ることができます。「いまのリナイン」なら、月々のお支払額をさらに抑えることができます。
- **レンタカー** 全国で約1,000拠点を展開しており、メーカーを問わない多彩なラインアップから、目的に合わせて最適な1台をお選びいただけます。
- **カーシェアリング** 首都圏・中部・近畿エリアを中心とした約1,400カ所、約2,300台で展開しています。ICカード1枚で全ての車両が利用可能。最短30分から15分単位、24時間いつでもご利用いただけます。



オリックスカーシェアのカーシェアリングステーション



# ダイジェスト

オリックス生命は、お客さまにご満足いただける保険会社を目指し、「シンプルで分かりやすい」商品のご提供と保険金・給付金等の迅速なお支払いを心掛けています。

ダイジェストページでは、2015年度と2016年6月までの当社の主な取組みをご紹介します。



## 特定疾病保障保険With[ウィズ]を新発売

2016年5月2日より特定疾病保障保険[ウィズ]を発売しました。がん・急性心筋梗塞・脳卒中による収入減等の経済的な不安を払拭し、罹患前の生活水準を維持していただくことを目的とした商品です。



### [ウィズ]の特長

#### ① まとまった保険金で経済的な負担をカバー

がん・急性心筋梗塞・脳卒中により約款所定の事由に該当されたとき特定疾病保険金をお支払いします。万一の場合は死亡保険金をお支払いします(最高2,000万円)。

#### ② 支払事由を分かりやすく

急性心筋梗塞・脳卒中の支払事由に「治療を目的とした手術」を加えたことでより分かりやすくなりました。

#### ③ 選べる2つの保障タイプ

手頃な保険料で一定期間の保障を確保したい方には業界で初めて解約払戻金をなくした定期保障をご用意し、一生涯の保障や貯蓄性を求める方には低解約払戻金型の終身保障をご用意しました。

※がん・急性心筋梗塞・脳卒中を保障し、死亡保障がある特定疾病保障保険の定期・無解約払戻金型は業界初となります。

商品開発部長

越川 直毅

(こしかわ なおき)



この新商品[ウィズ]は、当社のコンセプト“シンプルで分かりやすい”商品であるということはもちろん、“お客さまに寄り添う”という想いを込めて開発した商品です。

万一、がん・急性心筋梗塞・脳卒中によって約款所定の事由に該当されたとき、治療費等の経済的な負担を

軽減することを目的とした保険は他にもありますが、[ウィズ]は、罹患前の生活水準を維持することを目的としています。病気が完治するまで、治療期間が長くなってしまいう場合もあると思います。ですから、その間治療に専念できるよう経済的な不安を払拭し、永く寄り添ってサポートしていきます。

私たちの開発した商品が必要な方々のところに届き、一人でも多くのお客さまの安心が得られるとうれしいですね。今後もお客さまのニーズにお応えしていきたいと考えています。



## 医療保険[新キュア・サポート] 終身保険[新ライズ・サポート]を発売



2015年10月2日より引受基準緩和型の医療保険[新キュア・サポート]、および終身保険[新ライズ・サポート]を発売しました。いずれの商品も持病があってもご加入いただきやすい商品です。

### [新キュア・サポート]の特長

#### ① 1入院の支払限度日数が拡大

三大疾病(がん・心疾患・脳血管疾患)により入院された場合には、支払日数を無制限で保障します。

#### ② 保障の対象となる手術は公的医療保険制度に連動

約1,000種類の手術を保障します。

#### ③ 引受基準緩和型重度三疾病一時金特約・引受基準緩和型がん一時金特約を新設

がんと診断・入院、急性心筋梗塞・脳卒中で入院された場合に何度でも一時金をお支払いします(それぞれ1年に1回限度)。  
※引受基準緩和型がん一時金特約は「がん」と診断・入院された場合のみの保障です。

#### ④ 特定疾病保険料払込免除特則を新設

がん・急性心筋梗塞・脳卒中により約款所定の状態になられた場合には、以後の保険料の払込みを免除します。

### [新ライズ・サポート]の特長

#### ① 一生涯の死亡保障

死亡された場合、死亡保険金をお支払いします。保険料はご加入時のまま変わりません。

#### ② 特定疾病保険料払込免除特則を新設

がん・急性心筋梗塞・脳卒中により約款所定の状態になられた場合には、以後の保険料の払込みを免除します。

# 医療保険[新キュア][新キュア・レディ]をリニューアル



2015年10月2日より医療保険[新キュア][新キュア・レディ]の保障内容をリニューアルしました。

## [新キュア][新キュア・レディ]の特長

- ① **重度三疾病一時金特約を新設**  
がんと診断・入院、急性心筋梗塞・脳卒中で入院された場合に何度でも一時金をお支払いします(それぞれ1年に1回限度)。
- ② **がん一時金特約を新設**  
がんと診断・入院された場合に何度でも一時金をお支払いします(1年に1回限度)。
- ③ **[新キュア・レディ]に七大生活習慣病入院給付特約の適用が可能に**  
三大疾病(がん・心疾患・脳血管疾患)または七大生活習慣病(がん・心疾患・脳血管疾患・糖尿病・高血圧性疾患・肝硬変・慢性腎不全)により入院された場合には、支払限度日数を拡大します。

# 終身保険[ライズ]に「介護前払特約」を新設



2015年5月2日より、終身保険[ライズ]に「介護前払特約」が付加できるようになりました。

被保険者が約款所定の要介護状態になった場合に保険金を前払いします。これにより、介護状態になった時にまとまったお金が必要というニーズに対応することが可能となりました。

# 3つの安心サービスを提供

2015年10月、医療保険による経済的な安心をご提供することに加えて、「病気そのものに対する不安」、「治療に対する不安」を取り除く精神的な安心もご提供したいと考え、当社保険商品にご加入いただいているお客さまを対象に、付帯サービス「健康医療相談サービス」の提供を開始しました。サービス提供開始以後、多くのお客さまにご利用いただいております。

### 24時間電話健康相談サービス

〈ご利用対象者〉被保険者とその同居のご家族  
ご自身やご家族の健康・医療・介護・育児・メンタルヘルスに関するご相談に、24時間、年中無休でお応えします。

### セカンドオピニオンサービス

〈ご利用対象者〉被保険者  
各専門分野の医師と面談し、より良い医療を選択するためのアドバイスを受けることができます。

### 糖尿病専門サポートサービス

〈ご利用対象者〉被保険者  
糖尿病に関する電話でのご相談や、優秀糖尿病臨床医等のご案内を行い、糖尿病の予防・治療をサポートします。

※「健康医療相談サービス」はティーベック株式会社をご提供します。

【ご利用いただける対象商品】新キュア、新キュア・レディ、新キュア・サポート、リリーフ・ダブル、ウィズ、ビリーブ、フォース



BAKU BAKUのアイコンが表示される

2015年10月から「健康医療相談サービス」のご提供を開始しました。開発当初は、あまり利用されないのではないかと不安だったのですが、お客さまからは大変ご好評をいただいております。また、代理店の皆さまからもお客さまが喜んでくださっていると伺いご利用いただいていることを実感しています。

現時点で、このサービスをご利用いただけるお客さまは100万人以上いらっ

しゃいます。そのすべてのお客さまには、連絡先を記載した携行カード付きのご案内ハガキをお送りいたします。また、ご案内ハガキに掲載のQRコードを読み込んでいただければ、スマートフォンからウェブページにアクセスでき、簡単に電話をかけることが可能です。ぜひ活用していただきたいですね。

営業企画部長  
**川口 毅**  
(かわぐち たけし)



オリックス生命について

お客さまにご満足いただくために

2015年度決算のご報告

コーポレートガバナンスの強化について

会社概要

諸データ



## 新契約・保有契約が伸展

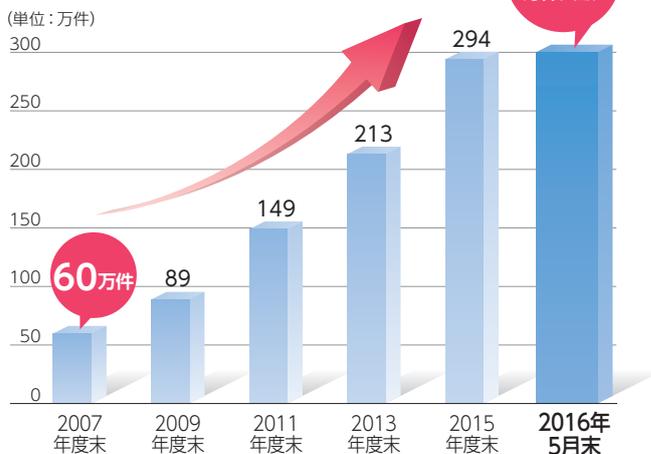
2015年度の個人保険新契約件数は50万件<sup>(※1)</sup>を超え、3期連続で50万件を突破しました。また、保有契約件数は300万件を突破し<sup>(※2)</sup>10期連続の2桁成長となりました。

オリックス生命では、“シンプルで分かりやすいこと”“合理的な保障をお手頃な価格でご提供すること”をコンセプトに、常にお客さまのニーズを取り込んだ商品開発に取り組み、商品ラインアップの充実と商品力の向上を図っています。

(※1) 個人保険新契約件数555,918件(2015年4月~2016年3月)

(※2) 個人保険保有契約件数3,016,981件(2016年5月末時点)

■ 保有契約件数の推移(個人保険)



## 直販チャネルの組織を新設

2016年3月1日付で自社保険商品の対面による直接販売を行う営業部門「コンサルティング営業統括部」および同チャネル内の人材育成やその他運営に関する企画業務を担う管理部門「コンサルティング業務企画部」(以下、「直販チャネル」)を新設しました。

2016年10月1日より、東京、大阪を拠点に募集活動を開始する予定で準備をすすめています。

直販チャネルは、主に電話やインターネットを通じた資料郵送ならびにインターネットによる直接販売(以下、「ダイレクトチャネル」)を経由してご契約いただいたお客さまの保全や既加入保険内容の見直しのほか、

ダイレクトチャネルで新契約時に対面サービスを希望される方へのフォロー、そして新規販売先の開拓などを担う予定です。

直販チャネルとダイレクトチャネルをシームレスにしたビジネスモデルを構築していくと同時に、当社が有する販売経路を相互に補完し合う“オムニチャネル”化を図ります。

そして、商品検討の際や保険加入後などにご提供する全ての品質を向上させて、総合的にお客さま満足度を高めていく態勢を整備していきます。

コンサルティング  
業務企画部長

西林 肇

(にしばやし はじめ)



おかげさまで当社は、順調な業績を重ねて成長してきましたが、次のステージを目指すためには、お客さまサービスのさらなる向上を追求する必要があるという結論に至りました。

そのためのチャレンジアクションの1つが直販チャネルの立ち上げです。当社には既に3つの販売チャネルがありますが、今回の直販チャネルの立ち上げは、単なる4つ目のチャネルを新設するという以上の意味を持っています。

私たちは、販売チャネルとしての基本的な役割を担うことはもちろんですが、他のチャネルとの連携や

サポートによりお客さまサービスの最適化を模索し、オムニチャネル化戦略の先陣を切るという重要な役割を担っています。

一人ひとり異なる価値観やライフスタイルをお持ちのお客さまのニーズを一番近くで感じて、継続的なサポートができる存在になりたいと思っています。我々が得たお客さまの想いをどれだけ社内に持ち帰り、アクションを起こせるかということも大事な役割であると肝に銘じております。

実現のためには、スタッフのクオリティが非常に重要になってきます。資質を見極めて採用・配属を行うことはもちろんですが、知識、スキル、行動姿勢、そして倫理観、これらが高めるために教育プログラムにもこだわっています。生命保険の知識を付与するだけにとどまらず、お客さまに最高のサービスをお届けできるビジネスマンとして素晴らしい人間を育てていきたいと考えています。

## ハートフォード生命と合併

2015年7月に、子会社であるハートフォード生命保険株式会社との合併手続きが完了しました。これまで両社が培ってきたノウハウを結集することにより、サービス品質の向上、経営の効率化や保有契約の万全な管理、財務の健全性の維持を図り、生命保険事業の継続的な成長を目指しています。

## ウェブサイトの改善

2015年5月に当社ウェブサイト进行全面リニューアルしました。

“見やすさ”と“使いやすさ”を追求し、お客さまに親しまれるウェブサイトへと進化しました。スマートフォンやタブレットなどからご覧いただいても、各種端末機器の画面サイズにあわせ自動的に最適化表示される「レスポンシブウェブデザイン」を採用するなど、機能面においても充実を図っています。

2016年3月には、ご契約者さまがウェブサイトより「お届け内容の変更」や「給付金請求手続き方法の確認」が行いやすいようにリニューアルしました。

「各種お手続きの一覧」ページではインターネットや電話などどのような手段で行えるのかを分かりやすく整理しました。保険料の支払方法の変更や給付金の請求など各種手続きのページでは、ステップごとの説明を詳細にして、また一部の手続きに関しては画面の遷移を短縮するなど使っていただきやすいように工夫しています。

さらに、保険金・給付金の請求に関しては、どのような場合にどのような書類が必要かをご案内する「保険金・給付金必要書類ガイド機能」をリニューアルし、スマートフォンでも見やすくなりました。

当社キャラクターBAKU BAKU(バクバク)も随所に登場しています。さまざまな表情を見せるBAKU BAKUや、ダンス初披露のBAKU BAKUもお楽しみいただけます。

お客さまに便利にお使いいただけるウェブサイトを目指して2016年度以降も随時見直しを行ってまいります。

● パソコンで見たとき



● スマートフォンで見たとき



## 「平成28年熊本地震」に関する対応について

このたびの熊本県熊本地方で発生した地震によりお亡くなりになられた方々に対しまして心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々には謹んでお見舞い申し上げます。

(1) 特別措置について

- ・ 保険料払込猶予期間の延長
- ・ 保険金・給付金、契約者貸付金の簡易迅速なお支払い
- ・ 契約者貸付に対する特別金利の適用(利息の減免)

(2) 「平成28年熊本地震」により被災された皆さまへの支援を目的として、義援金500万円を寄贈いたしました。

皆さまの安全と被災地の一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。



## 代理店認証基盤の導入

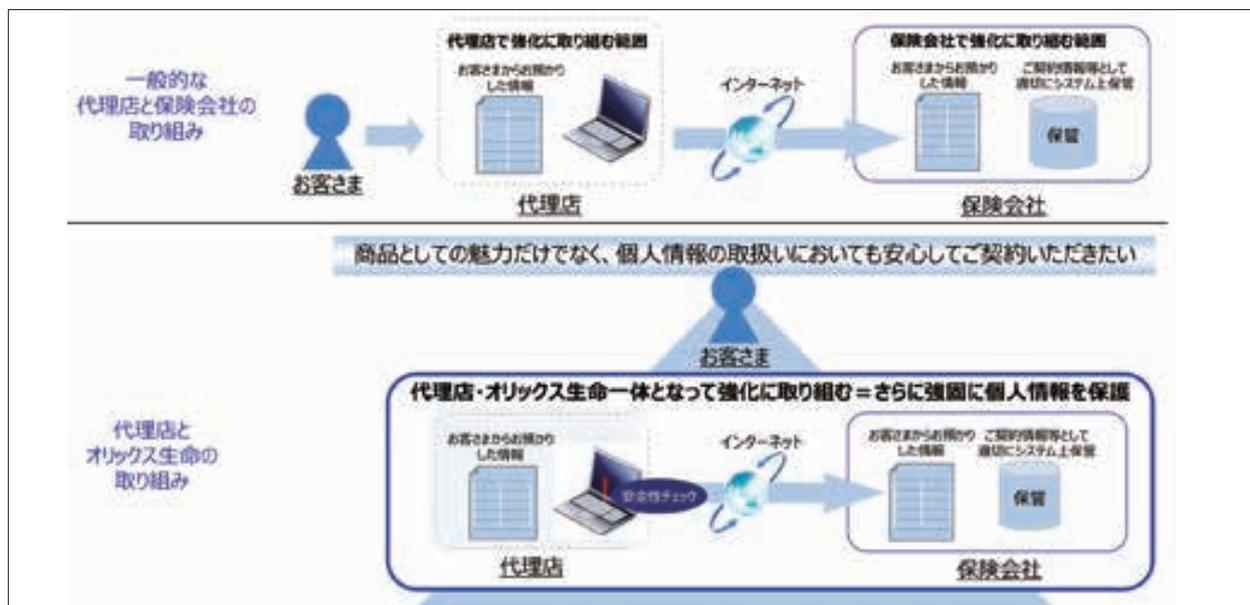
お客さまにより安心してご契約いただく環境作りの一環として、2016年6月より、代理店が使用する当社システムの情報セキュリティレベルを大幅に強化した認証システムの運用を開始しました。

- ①「利用者(代理店およびその募集人)」に加え「使用している端末(パソコン)」を検証することで『なりすましのアクセス』を防止します。
- ②情報漏えいに繋がる危険なソフトが導入されていない、かつ、ウイルス対策ソフトが最新化された「端末

(パソコン)のみ、システムの利用を許可することによる『ウイルス感染、拡大の防止』を実現します。

これにより、当社のみならず代理店および募集人の範囲まで、高水準のセキュリティレベルで安全性をチェックする態勢が整いました。

大切なお客さま情報を扱うシステムの情報セキュリティ対策は、今後も代理店と一体となって推進し、徹底した情報漏えいの防止に努めてまいります。



## BAKU BAKUレシピコンテスト

2015年10月、「お客さまが将来に抱える不安(ファン)を、生命保険を通じて安心(アンシン)に変える」をコンセプトに、当社の姿勢、ならびに企業理念の浸透を図っていくことを目的として、レシピコンテストを初めて実施しました。

当社公式キャラクターBAKU BAKU(バクバク)のキャッチコピー「ファンをバクバク食べてアンシンにする」に掛け、「ふ(お麩)・あん(餡・杏など)」を食材にしたレシピコンテストと、日常生活にある「ふ～」とする瞬間や

「あ～ん」といった表情を集めたフォトコンテストを同時開催しました。2015年12月に、ご応募をいただいた計251点の中から、レシピコンテスト作品9品、フォトコンテスト作品8点の入賞作品を決定し、オリックス・バファローズの駿太選手をお招きし入賞レシピ発表会と試食会を行いました。



肉巻き麩の角煮風



麩とあんこのカップケーキ

# 社会貢献活動

当社は、一般社団法人生命保険協会および全国にある地方協会を通じて、要介護老人支援策、募金・献血運動などさまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。

また、オリックスグループは、2006年4月に「オリックス社会貢献基金」を設立し、今後さらに持続的に活動していくため、2010年4月に「一般財団法人オリックス財団」を設立しました。2010年12月1日に公益認定を受け、2014年6月に「公益財団法人オリックス宮内財団」へ名称変更し、活動しています。当社もオリックスグループの一員として社会貢献活動や社員ボランティア活動を支援しています。

2015年度のオリックス財団での主な活動は以下のとおりです。

## 2015年度のオリックス宮内財団における主な活動

### 障害児者をすみだ水族館・春休みコンサートへご招待

南関東1都3県の特別支援学校の学級在校生、ご家族の合計4,730名を、すみだ水族館、すみだトリフォニーホールにご招待しました。2015年10月1日に、すみだ水族館の観覧と魚とのふれあいを楽しんでいただきました。また、2016年3月29日には、すみだトリフォニーホールでの新日本フィルハーモニー交響楽団の演奏と宮川彬良氏の指揮・ピアノによるコンサートにて、音楽の楽しさを味わっていただきました。今後も、招待者の心に残る素敵な思い出になるように、オリックス劇場(大阪府)での夏休みコンサートや、大宮ソニックシティでの春休みコンサートの開催を継続する予定です。



### 北海道から沖縄まで、全国5カ所で環境保全活動等を開催

社会的ハンディキャップのあるお子さまをご招待して、北海道、神奈川県、兵庫県、高知県、沖縄県の5カ所で、環境保全や青少年育成支援を開催しました。初開催となる農業体験では、オリックスグループの農業施設「オリックス農業養父レタス工場」でのレタス栽培行程の見学や、実際に採れたレタスを昼食で食べたりと、レタス栽培を通じて豊かな自然の魅力を感じていただきました。今後も長野県や和歌山県にある施設をはじめ、大都市近郊でも開催することで環境保全の大切さを伝えていく予定です。



### 肢体不自由児施設、重度心身障害施設に福祉車両を寄贈

福祉車両の寄贈は2006年度より始め、10年連続10回目の実施となりました。2015年度は、茨城県、栃木県、新潟県、富山県、滋賀県にある福祉施設に計5台を寄贈しました。これまでに寄贈した福祉車両は累計78台となり、利用者の方たちの移動手段の一つとして、通院や買い物などに役立てていただいています。全国の各都道府県に福祉車両累計100台をお届けできるよう、活動を続けてまいります。

